

磯辺地区の学校適正配置【参考シミュレーション】

1 小学校

(1) 磯辺地区の小学校の平成26年度の状況（統合が行われない場合）

		児童の状況			教員配置			
		児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一一般的な配置基準	特別な加配		
						県費	市費	
磯辺第一小	1年	31	1	31	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(11)	/	/
	2年	51	2	26				
	3年	45	2	23				
	4年	49	2	25				
	5年	54	2	27				
	6年	51	2	26				
	計	281	11	平均26名				
磯辺第二小	1年	29	1	29	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(6)	/	/
	2年	32	1	32				
	3年	27	1	27				
	4年	26	1	26				
	5年	31	1	31				
	6年	30	1	30				
	計	175	6	平均29名				
磯辺第三小	1年	50	2	25	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(11)	少人数加配教員 (3年)	/
	2年	51	2	26				
	3年	39	1	39				
	4年	63	2	32				
	5年	65	2	33				
	6年	56	2	28				
	計	324	11	平均29名				
磯辺第四小	1年	20	1	20	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(6) 特別支援担当 (病院内学級1)	/	/
	2年	17	1	17				
	3年	23	1	23				
	4年	31	1	31				
	5年	32	1	32				
	6年	24	1	24				
	計	147	6	平均25名				
高浜第二小	1年	25	1	25	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(6) 特別支援担当 (通級指導1)	/	/
	2年	12	1	12				
	3年	29	1	29				
	4年	23	1	23				
	5年	21	1	21				
	6年	15	1	15				
	計	125	6	平均21名				

（2）統合シミュレーションによる平成26年度の磯辺地区の小学校の状況

★参考統合シミュレーション1

（磯辺第一小・磯辺第三小、磯辺第二小・磯辺第四小の統合）

	児童の状況			教員配置				
	児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一小 と 磯辺第三小 の 統合校	1年	81	3	27	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(18) 専科担当(1)	少人数 加配教員 (5年)	
	2年	102	3	34				
	3年	84	3	28				
	4年	112	3	37				
	5年	119	3	40				
	6年	107	3	37				
	計	605	18	平均34名				
磯辺第二小 と 磯辺第四小 の 統合校	1年	49	2	25	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(12) 特別支援担当 (病院内学級1)		
	2年	49	2	25				
	3年	50	2	25				
	4年	57	2	29				
	5年	63	2	32				
	6年	54	2	27				
	計	322	12	平均27名				

・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。
・学校行事が活性化する。

・クラス替えができ、より社会性を育むことが期待できる。
・学年ごとに、教員同士の研修ができる。

音楽など専門的な知識を持つ教員の指導を受けられる。

教員の校務分掌の負担が減る。

5年生は、少人数指導を展開するか、4クラスに分けることができる。

★参考統合シミュレーション2

（磯辺第一小・磯辺第二小、磯辺第三小・磯辺第四小の統合）

	児童の状況			教員配置				
	児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一小 + 磯辺第二小	1年	60	2	30	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(15) 専科担当(1)	少人数 学習指導教員 (3年)	
	2年	83	3	28				
	3年	72	2	36				
	4年	75	2	38				
	5年	85	3	29				
	6年	81	3	27				
	計	456	15	平均30名				
磯辺第三小 + 磯辺第四小	1年	70	2	35	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(14) 特別支援担当 (病院内学級1) 専科担当(1)	少人数 加配教員 (6年)	
	2年	68	2	34				
	3年	62	2	31				
	4年	94	3	31				
	5年	97	3	32				
	6年	80	2	40				
	計	471	14	平均34名				

・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。
・学校行事が活性化する。

・クラス替えができ、より社会性を育むことが期待できる。
・学年ごとに、教員同士の研修ができる。

音楽など専門的な知識を持つ教員の指導を受けられる。

教員の校務分掌の負担が減る。

6年生は、少人数指導を展開するか、3クラスに分けることができる。

★参考統合シミュレーション3

（磯辺第一中学校区【磯辺第一小の一部・磯辺第二小・磯辺第四小】、
磯辺第二中学校区【磯辺第一小の一部・磯辺第三小】の統合）

	児童の状況			教員配置				
	児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一中学校区 磯辺第一小の一部 + 磯辺第二小 + 磯辺第四小	1年	69	2	35	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(15) 特別支援担当 (病院内学級1) 専科担当(1)	少人数 加配教員 (2・3年)	/
	2年	73	2	37				
	3年	78	2	39				
	4年	82	3	27				
	5年	96	3	32				
	6年	88	3	29				
	計	486	15	平均32名				
磯辺第二中学校区 磯辺第一小の一部 + 磯辺第三小	1年	61	2	31	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(15) 専科担当(1)	/	/
	2年	78	3	26				
	3年	56	2	28				
	4年	87	3	29				
	5年	86	3	29				
	6年	73	2	37				
	計	441	15	平均29名				

・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。
・学校行事が活性化される。

・クラス替えができ、より社会性を育むことが期待できる。
・学年ごとに、教員同士の研修ができる。

音楽など専門的な知識を持つ教員の指導を受けられる。
教員の校務分掌の負担が減る。

2・3年生は、それぞれ、少人数指導を展開するか、3クラスに分けることができる。

<高浜6丁目の児童を含めた場合>

	児童の状況			教員配置				
	児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配			
					県費	市費		
磯辺第一中学校区 磯辺第一小の一部 + 磯辺第二小 + 磯辺第四小	1年	69	2	35	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(15) 特別支援担当 (病院内学級1) 専科担当(1)	少人数 加配教員 (2・3年)	/
	2年	73	2	37				
	3年	78	2	39				
	4年	82	3	27				
	5年	96	3	32				
	6年	88	3	29				
	計	486	15	平均32名				
磯辺第二中学校区 磯辺第一小の一部 + 磯辺第三小 + 高浜6丁目の児童	1年	62	2	31	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(15) 専科担当(1)	/	/
	2年	79	3	26				
	3年	59	2	30				
	4年	93	3	31				
	5年	88	3	29				
	6年	76	2	38				
	計	457	15	平均30名				

★参考統合シミュレーション4

（高浜第二小と高浜第三小の統合）

		児童の状況			教員配置			
		児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配		
						県費	市費	
高浜第二小 と 高浜第三小 の 統合校	1年	51	2	26	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(12) 特別支援担当 (通級指導1)	/	/
	2年	47	2	24				
	3年	51	2	26				
	4年	51	2	26				
	5年	41	2	21				
	6年	43	2	22				
	計	284	12	平均24名				

・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。
・学校行事が活性化される。

・クラス替えができ、より社会性を育むことが期待できる。
・学年ごとに、教員同士の研修ができる。

教員の校務分掌の負担が減る。

<高浜6丁目の児童を含めない場合>

		児童の状況			教員配置			
		児童数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配		
						県費	市費	
高浜第二小 と 高浜第三小 の 統合校	1年	50	2	25	校長 教頭 養護教諭	教務主任(1) 学級担任(10) 特別支援担当 (通級指導1)	少人数加配 教員 (5・6年)	/
	2年	46	2	23				
	3年	48	2	24				
	4年	45	2	23				
	5年	39	1	39				
	6年	40	1	40				
	計	268	10	平均27名				

2 中学校

(1) 磯辺地区の中学校の平成26年度の状況（統合が行われない場合）

		学級編制の状況			教員配置			
		生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配		
						県費	市費	
磯辺第一中	1年	80	3	27	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	95	3	32				
	3年	85	3	28				
	計	260	9	平均29名				
磯辺第二中	1年	115	4	29	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	110	3	37				
	3年	105	3	35				
	計	330	10	平均33名				

(2) 統合シミュレーションによる平成26年度の磯辺地区の中学校の状況

★参考統合シミュレーション1

(現在の学区の中で磯辺第一中と磯辺第二中を統合)

		学級編制の状況			教員配置			
		生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配		
						県費	市費	
統合校	1年	195	6	33	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	205	6	34				
	3年	190	5	38				
	計	590	17	平均35名				

- ・ 場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。
- ・ 学校行事が活性化する。

- ・ 教員が免許外の教科を担当することはない。
- ・ ほとんどの教科で複数の教員が配置されるので、教員同士の研修ができる。
- ・ ニーズに応じた部活動数を確保できる。
- ・ 教員の校務分掌の負担が減る。

★参考統合シミュレーション2

（磯辺第一中と磯辺第二中【高浜第二小学校区からの生徒を除く】を統合）

仮に、小学校の「参考統合シミュレーション4」が行われ、現在の高浜第二小学校の学区（高浜6丁目・高浜3丁目）が、磯辺第二中学校区から、高浜中学校区へ変更した場合を想定

※高浜第二小学校区内からの生徒は、住民基本台帳上の人数で計算

		学級編制の状況			教員配置			
		生徒数	学級数	1学級あたりの人数	千葉県の一般的な配置基準	特別な加配		
						県費	市費	
統合校	1年	176	5	35	校長 教頭 養護教諭	教務主任 学級担任 副担任 生徒指導主事等	/	/
	2年	187	5	37				
	3年	176	5	35				
	計	▲539	15	平均36名				

- ・場面に応じて適切な規模の集団を組むことができる。
- ・学校行事が活性化する。

- ・教員が免許外の教科を担当することはない。
- ・ほとんどの教科で複数の教員が配置されるので、教員同士の研修ができる。
- ・ニーズに応じた部活動数を確保できる。
- ・教員の校務分掌の負担が減る。